



(19)

(11) Publication number: 2002133114

Generated Document.

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(21) Application number: 2000327686

(51) Int'l. Cl.: G06F 17/60

(22) Application date: 26.10.00

(30) Priority:

(43) Date of application publication: 10.05.02

(84) Designated contracting states:

(71) Applicant: SONY CORP

(72) Inventor: IWASE SUMIO
NAKAZAWA HIROSHI
FUKAHORI KENICHI
OSAWA MITSUO

(74) Representative:

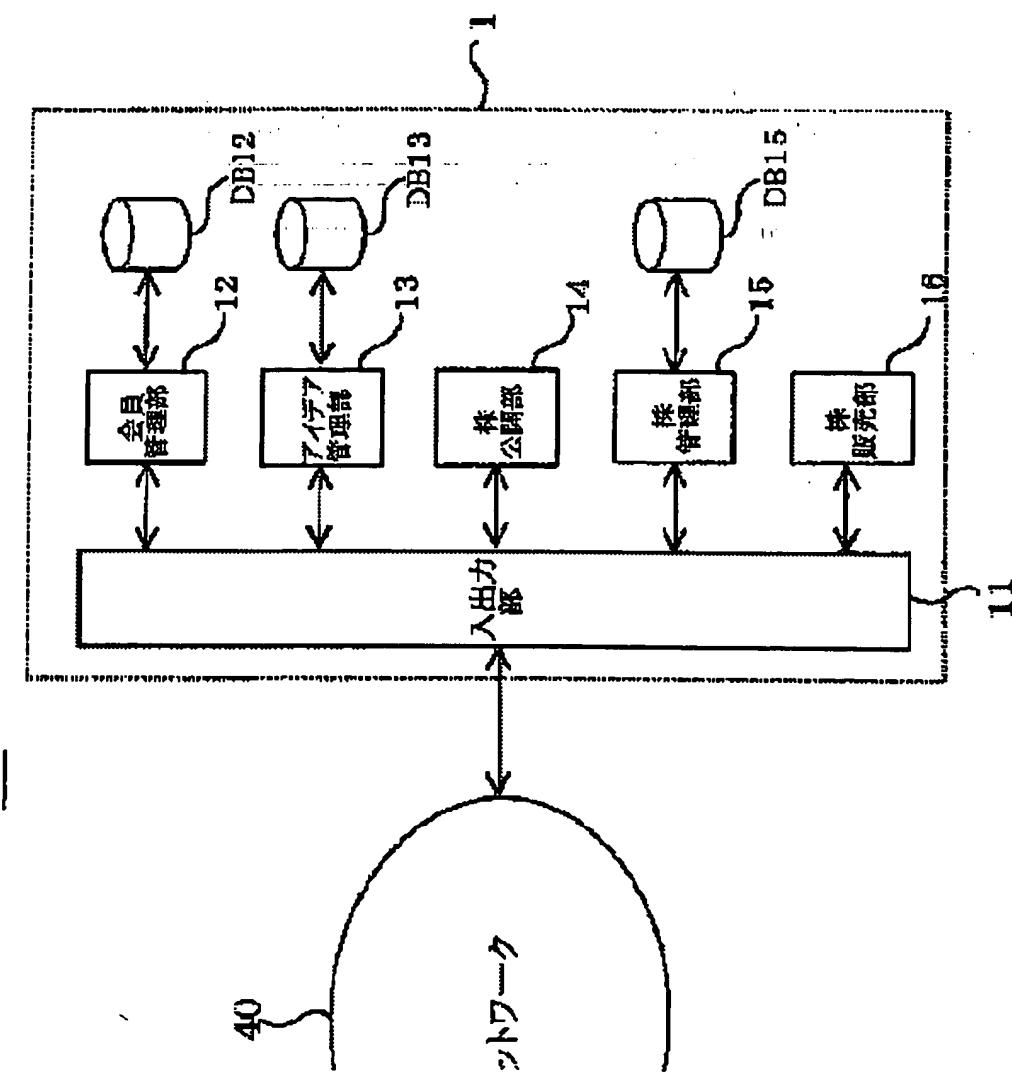
(54) IDEA INVESTING APPARATUS, IDEA APPLICATION APPARATUS USING IT, AND METHOD THEREFOR

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an idea investing apparatus, an idea application apparatus and methods for them capable of recruiting investors for ideas and raising the capital for applying the idea.

SOLUTION: In a stock management part 15, an issue request for stocks is received from a terminal device 2b of an idea holder, and stocks of the amount of money and the circulation corresponding to the estimated amount of money of the application cost of the idea are issued. The price of stock issued in the stock management part 15 and the information on the idea of the concerned stock are opened to the members by a stock publishing part 14. The stock opened to the public in the stock publishing part 14 is sold to the circulation preset in the stock

100



to the circulation preset in the stock management part 15 at most to the requesting investors at the price of stock set in the stock management part 15 in response to a selling request from a terminal device 2a of the investor in a stock selling means 16. Thus, the idea holder can efficiently collect the capital necessary for application of the idea on a network.



COPYRIGHT: (C)2002,JPO

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-133114

(P2002-133114A)

(43)公開日 平成14年5月10日(2002.5.10)

(51)Int.Cl.
G 0 6 F 17/60

識別記号
2 3 4
Z E C
2 0 6
2 1 4
3 0 2

F I
G 0 6 F 17/60

テマコード*(参考)
2 3 4 C 5 B 0 4 9
Z E C 5 B 0 5 5
2 0 6
2 1 4
3 0 2 Z

審査請求 未請求 請求項の数12 OL (全20頁) 最終頁に続く

(21)出願番号

特願2000-327686(P2000-327686)

(22)出願日

平成12年10月26日(2000.10.26)

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 岩瀬 純夫

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
ー株式会社内

(72)発明者 中沢 博

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
ー株式会社内

(74)代理人 100094053

弁理士 佐藤 隆久

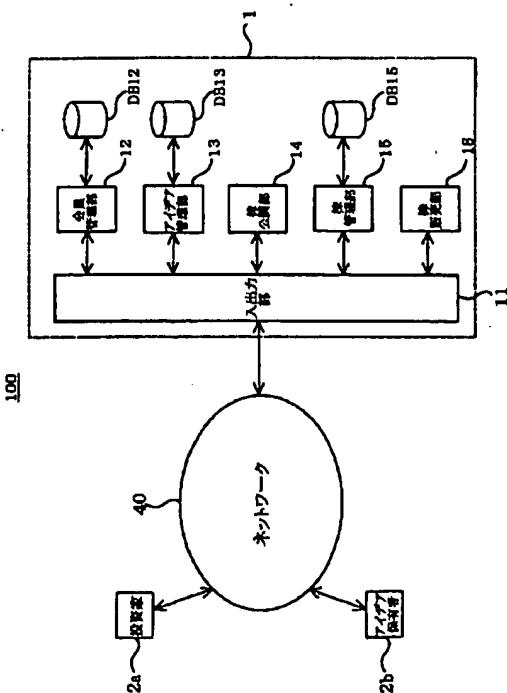
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 アイデア投資装置およびこれを用いたアイデア運用装置ならびにそれらの方法

(57)【要約】

【課題】アイデアに対する投資家を募り、アイデアの運用資金を調達できるアイデア投資装置、アイデア運用装置ならびにそれらの方法を提供する。

【解決手段】株管理部15においてアイデア保有者の端末装置2bから株の発行要求を受けて、アイデアの運用経費の見積額に応じた金額および発行数に設定された株が発行される。また、株管理部15において発行された株の株価、および当該株のアイデアに関する情報は、株公開部14によって会員に公開される。さらに、株公開部14において公開された株は、株販売手段16において投資家の端末装置2aから販売要求を受けて、多くとも株管理部15において設定された発行数までの当該株が、株管理部15において設定された株価で要求元の投資家に販売される。これにより、アイデア保有者はネットワーク上においてアイデアの運用に必要な資金を効率的に集めることができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくとも1つのアイデアの運用利益から所定の配当を受ける権利を保証する証券の発行要求を受けて、当該アイデアの運用経費の見積金額に応じた金額および発行数に設定した上記証券を発行する証券発行手段と、

上記証券発行手段において発行された証券の金額、および当該証券のアイデアに関する情報を表示する表示手段と、

上記表示手段において表示された証券の販売要求を受けて、多くとも上記証券発行手段において設定された発行数までの当該証券を、上記証券発行手段において設定された金額で上記販売要求の要求元に販売する販売手段とを有するアイデア投資装置。

【請求項2】 上記証券発行手段は、上記アイデアに対して発行する証券の総額が、当該アイデアの運用経費の見積金額と等しいか、または当該見積もり金額を超えるように当該証券の金額と発行数を設定する、請求項1に記載のアイデア投資装置。

【請求項3】 上記証券発行手段は、上記発行要求に応じて、発行する証券の金額または発行数の何れか一方または両方を設定する、請求項2に記載のアイデア投資装置。

【請求項4】 発行から所定期間経過した上記証券の売上額が当該所定期間に応じた所定の売上額に達していない上記証券の発行要求元に、当該証券の金額および発行数の再設定について問い合わせ、当該問い合わせに対する回答に応じて、当該証券の金額および発行数の再設定を上記証券発行手段に指示する売上不足処理手段を有し、

上記証券発行手段は、上記売上不足処理手段からの指示に応じて、上記証券の金額および発行数を再設定する、請求項1に記載のアイデア投資装置。

【請求項5】 上記売上不足処理手段は、発行から所定期間経過した上記証券の売上額が上記見積金額に達していない上記証券の発行要求元に、当該証券の販売中止について問い合わせ、当該問い合わせに対する回答に応じて、当該証券の販売中止を上記販売手段に指示し、上記販売手段において販売された当該証券の金額に応じた清算金を当該証券の所有者に払い戻し、

上記販売手段は、上記売上不足処理手段からの指示に応じて、当該証券の販売を中止する、

請求項4に記載のアイデア投資装置。

【請求項6】 アイデアの経済的な価値を評価する経済価値評価手段と、

上記経済価値評価手段による評価結果を提示して、アイデアを運用するための資金を提供する資金提供者を募集する資金提供者募集手段と、

上記資金提供者が提供した上記資金を用いて、当該資金が提供されたアイデアを運用し、経済的な利益を上げる

処理を行う運用手段とを有し、

上記資金提供者募集手段は、

少なくとも1つのアイデアの運用利益から所定の配当を受ける権利を保証する証券の発行要求を受けて、当該アイデアの運用経費の見積金額に応じた金額および発行数に設定した上記証券を発行する証券発行手段と、

上記証券発行手段において発行された証券の金額、および当該証券のアイデアに関する情報を表示する表示手段と、

上記表示手段において表示された証券の販売要求を受けて、多くとも上記証券発行手段において設定された発行数までの当該証券を、上記証券発行手段において設定された金額で要求元に販売する販売手段とを含む、アイデア運用装置。

【請求項7】 少なくとも1つのアイデアの運用利益から所定の配当を受ける権利を保証する証券の発行要求を受けて、当該アイデアの運用経費の見積金額に応じた金額および発行数に設定した上記証券を発行する証券発行ステップと、

上記証券発行ステップにおいて発行された証券の金額、および当該証券のアイデアに関する情報を表示する表示ステップと、

上記表示ステップにおいて表示された証券の販売要求を受けて、多くとも上記証券発行ステップにおいて設定された発行数までの当該証券を、上記証券発行ステップにおいて設定された金額で上記販売要求の要求元に販売する販売ステップとを有するアイデア投資方法。

【請求項8】 上記証券発行ステップは、上記アイデアに対して発行する証券の総額が、当該アイデアの運用経費の見積金額と等しいか、または当該見積もり金額を超えるように当該証券の金額と発行数を設定する、請求項7に記載のアイデア投資方法。

【請求項9】 上記証券発行ステップは、上記発行要求に応じて、発行する証券の金額または発行数の何れか一方または両方を設定する、請求項8に記載のアイデア投資方法。

【請求項10】 発行から所定期間経過した上記証券の売上額が当該所定期間に応じた所定の売上額に達していない上記証券の発行要求元に、当該証券の金額および発行数の再設定について問い合わせ、当該問い合わせに対する回答に応じて、当該証券の金額および発行数を再設定する売上不足処理ステップを有する、請求項7に記載のアイデア投資方法。

【請求項11】 上記売上不足処理ステップは、発行から所定期間経過した上記証券の売上額が上記見積金額に達していない上記証券の発行要求元に、当該証券の販売中止について問い合わせ、当該問い合わせに対する回答に応じて、当該証券の販売を中止し、上記販売ステップにおいて販売された当該証券の金額に応じた清算金を当該証券の所有者に払い戻す、

請求項10に記載のアイデア投資方法。

【請求項12】 アイデアの経済的な価値を評価するステップと、

上記評価の結果を提示して、アイデアを運用するための資金を提供する資金提供者を募集するステップと、

上記資金提供者が提供した上記資金を用いて、当該資金が提供されたアイデアを運用し、経済的な利益を上げる処理を行うステップとを有し、

上記資金提供者を募集するステップは、

少なくとも1つのアイデアの運用利益から所定の配当を受ける権利を保証する証券の発行要求を受けて、当該アイデアの運用経費の見積金額に応じた金額および発行数に設定した上記証券を発行する証券発行ステップと、上記証券発行ステップにおいて発行された証券の金額、および当該証券のアイデアに関する情報を表示する表示ステップと、

上記表示ステップにおいて表示された証券の販売要求を受けて、多くとも上記証券発行ステップにおいて設定された発行数までの当該証券を、上記証券発行ステップにおいて設定された金額で上記販売要求の要求元に販売する販売ステップとを含む、

アイデア運用方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、アイデアの運用利益から所定の配当を受ける権利を保証する証券を発行して投資家に販売するアイデア投資装置およびこれを用いたアイデア運用装置ならびにそれらの方法に係り、例えば、インターネット等のネットワークを利用したアイデア投資装置およびこれを用いたアイデア運用装置ならびにそれらの方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】大量のアイデアを産み出して権利化する企業においては、権利化に必要な明細書や図面などの書類の作成を特許事務所に依頼することが多い。一方、資金力の乏しい個人の発明家にとっては、特許事務所などに依頼する書類の作成費が高額であるため、明細書などの書類を自ら作成することが多い。しかしながら、権利化を目的とした明細書の作成には専門的な知識が必要であり、このような知識を有しない個人の発明家によって作成された明細書には権利化に不利な記載が含まれることが多い。そのため、せっかく優良なアイデアを考案しながら、権利化に失敗してしまうことがある。

【0003】そこで、このような資金力の乏しい発明家に対して権利化に必要な明細書や図面などの書類の作成費を提供する投資家を募る仕組みがあれば、これらの投資家より得られた資金を元にして専門家に書類の作成を依頼することができるので、権利化に成功する率を高めることができるが、現在そのような仕組みは存在していない。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】したがって、アイデアを権利化するための資金を得ようとする場合、従来は発明者が自ら投資家を探し出して資金提供の説得を行わなくてはならない。例えば、インターネット上に発明者個人のホームページを開設して投資家の募集を行う方法などが考えられるが、現在インターネット上には膨大な量の情報が公開されており、しかもその数は年々増加しているため、このような情報の中から自らのホームページを投資家が選択してアクセスする確率は決して高いものとは言えない。

【0005】また、たとえ投資する意欲を有した人が発明者個人のホームページにアクセスして投資家募集の情報に触れたとしても、個人が開設するホームページは極めて大量にあるので、こうした情報に対する投資家の信頼度は低く、資金の提供までには至らない可能性が高い。

【0006】このように、せっかく優良なアイデアを考案しながら、資金が得られないためにアイデアの権利化を諦めてしまったり、あるいは専門的知識を有さない者によって作成された明細書を出願してアイデアの権利化に失敗してしまうケースが多いため、広く一般の人々が自ら発明したアイデアで利益を得ることが困難であるという問題がある。また、「アイデアを考案しても利益にならない」という見方が世間に定着してしまうことにより、潜在的にアイデアを生み出す能力を有した人々が創作活動から遠ざかってしまうので、技術の進歩や産業の発達が阻害される問題がある。

【0007】本発明はかかる事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、投資家から提供される資金によってアイデアを運用するための経費を効率的に集めることができるアイデア投資装置およびこれを用いたアイデア運用装置ならびにこれらの方を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため、本発明のアイデア投資装置は、少なくとも1つのアイデアの運用利益から所定の配当を受ける権利を保証する証券の発行要求を受けて、当該アイデアの運用経費の見積金額に応じた金額および発行数に設定した上記証券を発行する証券発行手段と、上記証券発行手段において発行された証券の金額、および当該証券のアイデアに関する情報を表示する表示手段と、上記表示手段において表示された証券の販売要求を受けて、多くとも上記証券発行手段において設定された発行数までの当該証券を、上記証券発行手段において設定された金額で上記販売要求の要求元に販売する販売手段とを有する。

【0009】好適には、上記証券発行手段は、上記アイデアに対して発行する証券の総額が、当該アイデアの運用経費の見積金額と等しいか、または当該見積もり金額を超えるように当該証券の金額と発行数を設定する。

【0010】また好適には、上記証券発行手段は、上記発行要求に応じて、発行する証券の金額または発行数の何れか一方または両方を設定する。

【0011】また好適には、発行から所定期間経過した上記証券の売上額が当該所定期間に応じた所定の売上額に達していない上記証券の発行要求元に、当該証券の金額および発行数の再設定について問い合わせ、当該問い合わせに対する回答に応じて、当該証券の金額および発行数の再設定を上記証券発行手段に指示する売上不足処理手段を有し、上記証券発行手段は、上記売上不足処理手段からの指示に応じて、上記証券の金額および発行数を再設定する。

【0012】また好適には、上記売上不足処理手段は、発行から所定の販売期間経過した上記証券の売上額が上記見積金額に達していない上記証券の発行要求元に、当該証券の販売中止について問い合わせ、当該問い合わせに対する回答に応じて、当該証券の販売中止を上記販売手段に指示し、上記販売手段において販売された当該証券の金額に応じた清算金を当該証券の所有者に払い戻し、上記販売手段は、上記売上不足処理手段からの指示に応じて、当該証券の販売を中止する。

【0013】本発明のアイデア投資装置によれば、上記証券発行手段において、少なくとも1つのアイデアの運用利益から所定の配当を受ける権利を保証する証券の発行要求を受けて、当該アイデアの運用経費の見積金額に応じた金額および発行数に設定された上記証券が発行される。また、上記証券発行手段において発行された証券の金額、および当該証券のアイデアに関する情報は、上記表示手段において表示される。さらに、上記表示手段において表示された証券は、上記販売手段において販売要求を受けて、多くとも上記証券発行手段において設定された発行数までの当該証券が、上記証券発行手段において設定された金額で上記販売要求の要求元に販売される。

【0014】好適には、上記証券発行手段において、上記アイデアに対して発行される証券の総額が、当該アイデアの運用経費の見積金額と等しいか、または当該見積もり金額を超えるように当該証券の金額と発行数が設定される。

【0015】また好適には、上記証券発行手段において、上記発行要求に応じて、発行する証券の金額または発行数の何れか一方または両方が設定される。

【0016】また好適には、上記売上不足処理手段において、発行から所定期間経過した上記証券の売上額が当該所定期間に応じた所定の売上額に達していない上記証券の発行要求元に、当該証券の金額および発行数の再設定について問い合わせされる。そして、当該問い合わせに対する回答に応じて、当該証券の金額および発行数の再設定が上記証券発行手段に指示される。上記証券発行手段においては、上記売上不足処理手段からの指示に応

じて、上記証券の金額および発行数が再設定される。

【0017】また好適には、上記売上不足処理手段において、発行から所定の販売期間経過した上記証券の売上額が上記見積金額に達していない上記証券の発行要求元に、当該証券の販売中止について問い合わせされる。そして、当該問い合わせに対する回答に応じて、当該証券の販売中止が上記販売手段に指示され、上記販売手段において販売された当該証券の金額に応じた清算金が当該証券の所有者に払い戻しされる。上記販売手段においては、上記売上不足処理手段からの指示に応じて、当該証券の販売が中止される。

【0018】本発明のアイデア運用装置は、アイデアの経済的な価値を評価する経済価値評価手段と、上記経済価値評価手段による評価結果を提示して、アイデアを運用するための資金を提供する資金提供者を募集する資金提供者募集手段と、上記資金提供者が提供した上記資金を用いて、当該資金が提供されたアイデアを運用し、経済的な利益を上げる処理を行う運用手段とを有し、上記資金提供者募集手段は、少なくとも1つのアイデアの運用利益から所定の配当を受ける権利を保証する証券の発行要求を受けて、当該アイデアの運用経費の見積金額に応じた金額および発行数に設定した上記証券を発行する証券発行手段と、上記証券発行手段において発行された証券の金額、および当該証券のアイデアに関する情報を表示する表示手段と、上記表示手段において表示された証券の販売要求を受けて、多くとも上記証券発行手段において設定された発行数までの当該証券を、上記証券発行手段において設定された金額で要求元に販売する販売手段とを含む。

【0019】本発明のアイデア運用装置によれば、上記経済価値評価手段において、アイデアの経済的な価値が評価される。上記資金提供者募集手段においては、上記経済価値評価手段による評価結果が提示されて、アイデアを運用するための資金を提供する資金提供者が募集される。また、上記運用手段において、上記資金提供者が提供した上記資金が用いられ、当該資金が提供されたアイデアが運用されて、経済的な利益を上げる処理が行われる。上記資金提供者募集手段の上記証券発行手段においては、少なくとも1つのアイデアの運用利益から所定の配当を受ける権利を保証する証券の発行要求を受け、当該アイデアの運用経費の見積金額に応じた金額および発行数に設定された上記証券が発行される。また、上記証券発行手段において発行された証券の金額、および当該証券のアイデアに関する情報は、上記資金提供者募集手段の上記表示手段において表示される。さらに、上記表示手段において表示された証券は、上記資金提供者募集手段の上記販売手段において販売要求を受けて、多くとも上記証券発行手段において設定された発行数までの当該証券が、上記証券発行手段において設定された金額で上記販売要求の要求元に販売される。

【0020】本発明のアイデア投資方法は、少なくとも1つのアイデアの運用利益から所定の配当を受ける権利を保証する証券の発行要求を受けて、当該アイデアの運用経費の見積金額に応じた金額および発行数に設定した上記証券を発行する証券発行ステップと、上記証券発行ステップにおいて発行された証券の金額、および当該証券のアイデアに関する情報を表示する表示ステップと、上記表示ステップにおいて表示された証券の販売要求を受けて、多くとも上記証券発行ステップにおいて設定された発行数までの当該証券を、上記証券発行ステップにおいて設定された金額で上記販売要求の要求元に販売する販売ステップとを有する。

【0021】好適には、上記証券発行ステップは、上記アイデアに対して発行する証券の総額が、当該アイデアの運用経費の見積金額と等しいか、または当該見積もり金額を超えるように当該証券の金額と発行数を設定する。

【0022】また好適には、上記証券発行ステップは、上記発行要求に応じて、発行する証券の金額または発行数の何れか一方または両方を設定する。

【0023】また好適には、発行から所定期間経過した上記証券の売上額が当該所定期間に応じた所定の売上額に達していない上記証券の発行要求元に、当該証券の金額および発行数の再設定について問い合わせ、当該問い合わせに対する回答に応じて、当該証券の金額および発行数を再設定する売上不足処理ステップを有する。

【0024】また好適には、上記売上不足処理ステップは、発行から所定期間経過した上記証券の売上額が上記見積金額に達していない上記証券の発行要求元に、当該証券の販売中止について問い合わせ、当該問い合わせに対する回答に応じて、当該証券の販売を中止し、上記販売ステップにおいて販売された当該証券の金額に応じた清算金を当該証券の所有者に払い戻す。

【0025】本発明のアイデア投資方法によれば、少なくとも1つのアイデアの運用利益から所定の配当を受ける権利を保証する証券の発行要求を受けて、当該アイデアの運用経費の見積金額に応じた金額および発行数に設定された上記証券が発行される。また、発行された証券の金額、および当該証券のアイデアに関する情報が、例えば投資家に対して表示される。さらに、表示された証券の販売要求を受けて、多くとも上記証券発行ステップにおいて設定された発行数までの当該証券が、上記証券発行ステップにおいて設定された金額で上記販売要求の要求元に販売される。

【0026】好適には、上記証券発行ステップにおいて、上記アイデアに対して発行する証券の総額が、当該アイデアの運用経費の見積金額と等しいか、または当該見積もり金額を超えるように当該証券の金額と発行数が設定される。

【0027】また好適には、上記証券発行ステップにお

いて、上記発行要求に応じて、発行する証券の金額または発行数の何れか一方または両方が設定される。

【0028】また好適には、上記売上不足処理ステップにおいて、発行から所定期間経過した上記証券の売上額が当該所定期間に応じた所定の売上額に達していない上記証券の発行要求元に、当該証券の金額および発行数の再設定について問い合わせされ、当該問い合わせに対する回答に応じて、当該証券の金額および発行数が再設定される。

【0029】また好適には、上記売上不足処理ステップにおいて、発行から所定期間経過した上記証券の売上額が上記見積金額に達していない上記証券の発行要求元に、当該証券の販売中止について問い合わせされ、当該問い合わせに対する回答に応じて、当該証券の販売が中止され、上記販売ステップにおいて販売された当該証券の金額に応じた清算金が当該証券の所有者に払い戻される。

【0030】本発明のアイデア運用方法は、アイデアの経済的な価値を評価するステップと、上記評価の結果を提示して、アイデアを運用するための資金を提供する資金提供者を募集するステップと、上記資金提供者が提供した上記資金を用いて、当該資金が提供されたアイデアを運用し、経済的な利益を上げる処理を行うステップとを有し、上記資金提供者を募集するステップは、少なくとも1つのアイデアの運用利益から所定の配当を受ける権利を保証する証券の発行要求を受けて、当該アイデアの運用経費の見積金額に応じた金額および発行数に設定した上記証券を発行する証券発行ステップと、上記証券発行ステップにおいて発行された証券の金額、および当該証券のアイデアに関する情報を表示する表示ステップと、上記表示ステップにおいて表示された証券の販売要求を受けて、多くとも上記証券発行ステップにおいて設定された発行数までの当該証券を、上記証券発行ステップにおいて設定された金額で上記販売要求の要求元に販売する販売ステップとを含む。

【0031】本発明のアイデア運用方法によれば、アイデアの経済的な価値が評価され、上記評価の結果が提示されて、アイデアを運用するための資金が提供する資金提供者が募集される。そして、上記資金提供者が提供した上記資金が用いられて、当該資金が提供されたアイデアが運用され、経済的な利益を上げる処理が行なわれる。上記資金提供者を募集するステップにおいては、少なくとも1つのアイデアの運用利益から所定の配当を受ける権利を保証する証券の発行要求を受けて、当該アイデアの運用経費の見積金額に応じた金額および発行数に設定された上記証券が発行される。また、発行された証券の金額、および当該証券のアイデアに関する情報が、例えば上記資金提供者に対して表示される。さらに、表示された証券の販売要求を受けて、多くとも上記証券発行ステップにおいて設定された発行数までの当該証券

が、上記証券発行ステップにおいて設定された金額で上記販売要求の要求元に販売される。

【0032】

【発明の実施の形態】以下、本発明の第1の実施形態に係るアイデア投資システムについて説明する。

<第1の実施形態>図1は、本発明の第1の実施形態に係るアイデア投資システム100を説明するための構成図である。図1に示すアイデア投資システム100においては、例えばインターネットなどのネットワーク40を介して、端末装置2aおよび端末装置2bとアイデア投資装置1とが接続される。また、図1に示すアイデア投資装置1は、入出力部11、会員管理部12、アイデア管理部13、株公開部14、株管理部15、株販売部16、会員データベースDB12、アイデア・データベースDB13、および株データベースDB15を有する。アイデア投資装置1は、本発明のアイデア投資装置の一実施形態である。株公開部14は、本発明の表示手段の一実施形態である。株管理部15は、本発明の証券発行手段および売上不足処理手段の一実施形態である。株販売部16は、本発明の販売手段の一実施形態である。

【0033】なお、本実施形態におけるアイデアとは、例えば特許法の発明に該当する自然法則を利用した技術的思想の創作を含む、着想一般のことである。また、本実施形態におけるアイデアの運用とは、例えばアイデアを特許、実用新案、意匠または商標として登録させる行為や、権利化されたアイデアの実施権を他者に認めて実施料を得る行為、当該実施権を他者に譲渡して対価を得る行為、あるいはアイデアを独占的に実施することによって利益を得る行為など、アイデアによって利益を得るためになされる行為のことである。

【0034】また、本実施形態における株とは、アイデアを運用して得られる利益から所定の配当を受ける権利を保証する証券のことである。投資家は、この株を購入してアイデアを運用するための経費（例えばアイデアの明細書を作成するための費用や出願するための費用）を提供する見返りに、アイデアを運用して得られた利益の中から購入株数に応じた所定の配当を受け取ることが保証される。株が発行される対象となるアイデアは1つでも良いし、または複数の関連するアイデアであっても良い。

【0035】[端末装置2aおよび端末装置2b]端末装置2aは、例えばパソコンや携帯電話などのネットワークを介した情報の入出力を行う単数または複数の装置であり、キーボードやマウス、ボタン、マイクなどの入力装置や、ディスプレイ、スピーカなどの出力装置からなるインターフェースを備えている。投資家は、これらの入力装置を操作することによってアイデア投資装置1にアクセスし、公開されている株の情報を端末装置2aのディスプレイ上に表示させて閲覧した

り、株の販売要求をアイデア投資装置1に送信して株を購入する。

【0036】端末装置2bは、端末装置2aと同様に、例えばパソコンや携帯電話などのネットワークを介した情報の入出力を行う単数または複数の装置であり、キーボードやマウス、ボタン、マイクなどの入力装置や、ディスプレイ、スピーカなどの出力装置からなるインターフェースを備えている。アイデア保有者は、これらの入力装置を操作することによってアイデア投資装置1にアクセスし、アイデアデータベースDB13に登録されている自らのアイデアを運用する資金を集めるための株を発行させる。

【0037】なお、好適には、アイデア投資装置1へのログインが許可される投資家またはアイデア保有者は、あらかじめアイデア投資装置1の会員データベースDB12に登録されている。各端末装置からアイデア投資装置1へのログインの要求が送信された場合に、会員であることを確認するための質問がアイデア投資装置1から要求元の端末装置に送信され、この質問に対する適切な回答が端末装置からアイデア投資装置1に返送されることによって、アイデア投資装置1へのログインが許可され、株の閲覧や購買、株の発行などの処理の実行が可能になる。

【0038】例えば、各会員を唯一に識別する会員番号とパスワードが会員登録時に発行されて会員データベースDB12に登録されており、アイデア投資装置1へのログイン時に、アイデア投資装置1から端末装置に対して会員番号とパスワードが質問される。これに応じて端末装置からアイデア投資装置1に送信された会員番号とパスワードが会員データベースDB12に登録されているものと一致した場合、アイデア投資装置1へのログインが許可される。

【0039】あるいは、会員を唯一に識別できる指紋や声紋、瞳の虹彩パターンなどの生物学的特徴が数値化されたデータ（身元識別データ）を会員登録時に会員データベースDB12へ登録させても良い。この場合には、例えば、アイデア投資装置1へのログイン時に、各端末装置に備えられた指紋読み取り装置や虹彩パターン読み取り装置などによって身元識別データが生成されて端末装置からアイデア投資装置1に送信され、このデータと会員データベースDB12に登録されているデータとの照合結果に応じて、アイデア投資装置1へのログインが許可される。

【0040】また、図1においては投資家の端末装置2aとアイデア保有者の端末装置2bが別の端末として描かれているが、同一の会員が投資家またはアイデア保有者として同一の端末からアイデア投資装置1にログインする場合や、異なる会員が同一の端末を共有する場合のように、端末装置2aと端末装置2bとが同一の装置であっても良い。

【0041】[アイデア投資装置1]アイデア投資装置1は、端末装置2aや端末装置2bからネットワーク4.0を介してログイン要求を受けた場合に後述するログイン処理を実行し、会員データベースDB12に登録されている投資家やアイデア保有者のログイン要求を許可する。このログイン処理においてログインが許可されたアイデア保有者から株発行要求を受けた場合には、後述する株発行処理を実行し、当該処理で決定された株価および株発行数を投資家に公開する。また、ログイン処理においてログインが許可された投資家から株表示要求を受けた場合には、後述する株選択処理を実行し、株発行処理において発行された株に関する情報を投資家に閲覧させて、購入を希望する株を選択させる。この株選択処理において購入する株を選択した投資家から株販売要求を受信した場合には、後述する株販売処理を実行し、投資家に株を販売する。さらに、所定の販売期間において後述する売上不足処理を実行し、発行された株の売り上げに応じて株価の変更や株の販売中止についてアイデア保有者に問い合わせせる。

【0042】入出力部11は、会員管理部12、アイデア管理部13、株公開部14、株管理部15または株販売部16から受けたデータを所定のプロトコルでネットワーク4.0に出力し、端末装置2aまたは端末装置2bに送信するとともに、端末装置2aまたは端末装置2bからネットワーク4.0を介して送られるデータを所定のプロトコルで受信し、会員管理部12、アイデア管理部13、株公開部14、株管理部15または株販売部16へ出力する。例えばネットワーク4.0がインターネットである場合には、HTML(HyperText Markup Language:ハイパーテキスト記述言語)文書を所定のプロトコルで送受信する処理を行う。また、会員管理部12、アイデア管理部13、株公開部14、株管理部15および株販売部16の間におけるデータの通信処理を行う。

【0043】なお、会員管理部12、アイデア管理部13、株公開部14、株管理部15または株販売部16がネットワーク4.0を介した所定のプロトコルによる送受信の機能を有している場合には、入出力部11を介さずに直接ネットワーク4.0へこれらのブロックを接続させてデータの通信処理を行わせても良い。

【0044】会員管理部12は、端末2aまたは端末2bからのログイン要求を受けて、要求元が会員データベースDB12に登録されている会員であるか否かを確認し、会員であることが確認された場合にログインを許可する処理(ログイン処理)を行なう。

【0045】会員データベースDB12は、例えば氏名や連絡先など、登録された会員に関する情報を記憶したデータベースである。またこれらの個人情報とともに、例えばパスワードや身元識別データなど、ログイン処理においてログイン要求元が登録された会員であるか否かを確認するための身元確認用データを記憶する。会員管

理部12からの要求に応じて、これらのデータの入出力をを行う。

【0046】アイデア管理部13は、会員として登録されているアイデア保有者が提供したアイデアをアイデア・データベースDB13に登録するとともに、株選択処理において表示が要求された株のアイデアに関する情報をアイデア・データベースDB13から検索して株公開部14に出力する。

【0047】アイデア・データベースDB13は、会員として登録されているアイデア保有者が提供したアイデアに関する情報を記憶するデータベースであり、アイデア管理部13からの要求に応じて、これらのデータを入力または出力する。

【0048】株公開部14は、ログインが許可された投資家からの株表示要求を受けて、後述する株選択処理を実行する。投資家に表示する株の株価や発行数などの情報を株管理部15から入力するとともに、当該株のアイデアに関する情報をアイデア管理部13から入力し、端末装置で情報を再生するための表示用データをこの入力データを用いて生成し、この生成した表示用データを表示要求元の投資家端末2aに送信する。

【0049】株管理部15は、株発行処理において、会員として登録されているアイデア保有者からの株発行要求に応じて株価と発行数を決定し、発行した株に関する情報を株データベースDB15に登録する処理を行う。また株選択処理や株販売処理において、要求された株に関する情報を株データベースDB15から検索し、株公開部14や株販売部16に出力する処理を行う。さらに売上不足処理において、投資家に公開されている株の売上を監視し、所定期間に所定の売上に達していない株について当該株の発行者(株のアイデア保有者)に株価の変更や株の販売中止に関する問い合わせをする処理を行う。株データベースDB15は、株発行処理において発行された株に関する情報を記憶するデータベースであり、株管理部15からの要求に応じてこれらのデータを入力または出力する。

【0050】株販売部16は、会員データベースDB12に会員として登録されている投資家からの株販売要求を受けて、販売要求を受けた株に関する情報を株管理部15から入力するとともに、要求元の投資家に関する情報を会員管理部12から入力し、販売中としてステータスが登録されている株を、所定の株販売要件を満たす投資家に対して販売する処理を行う。

【0051】次に、上述した構成を有するアイデア投資システム100の各処理における動作について、図面を参照しながら説明する。図2は、ログイン処理を説明するフローチャートである。

【0052】ステップST100:投資家の端末装置2aまたはアイデア保有者の端末装置2bからログイン要求が出力され、当該要求がネットワーク4.0を介してア

イデア投資装置1の入出力部11に受信されて会員管理部12に入力される。これにより、ログイン処理が開始される。

【0053】ステップST101：ログイン要求が入力された会員管理部12において、要求元が会員データベースDB12に登録されている会員か否かを確認するための質問データが生成され、要求元の端末装置に送信される。例えば、各会員を唯一に識別する会員番号とパスワードが会員データベースDB12に登録されている場合に、これらのデータをログイン要求元に問い合わせる質問データが生成される。また、会員を唯一に識別できる上述した身元識別データが会員データベースDB12に登録されており、この身元識別データを読み取る装置が要求元の端末装置に備えられている場合には、身元識別データをアイデア投資装置1へ送信することを要求する質問データが生成される。

【0054】ステップST102：ステップST101においてログイン要求元の端末装置に受信された質問データを受けて、ログインを要求するユーザにより当該端末装置に回答が入力される。例えば会員番号やパスワード、身元識別データなどが端末装置に入力される。この入力された回答のデータは当該端末装置から出力され、ネットワーク40を介してアイデア投資装置1の入出力部11に受信される。入出力部11に受信された回答のデータは会員管理部12に入力され、ここで会員データベースDB12に登録されている身元確認用データとの照合が行われる。例えば、会員番号およびが端末装置より回答され、これらの回答されたデータと、会員データベースDB12に登録されている会員番号およびパスワードとが照合される。

【0055】ステップST103：ステップST102における照合の結果、ログイン要求元が会員データベース12に登録されている会員であることが確認された場合はステップST104に処理が移行され、未登録である場合にはステップST105に処理が移行される。ステップST105：ログイン要求が不許可と判断されることを要求元の端末装置に通知するメッセージが会員管理部12において生成され、当該メッセージが要求元の端末装置に送信されてログイン処理が終了される。

【0056】ステップST104：ログイン要求が許可されたことを要求元の端末装置に通知するメッセージが会員管理部12において生成され、要求元の端末装置に送信されて、ログイン処理が終了される。これ以降、アイデア投資装置1において当該端末装置からの各処理要求が受け付けられる。当該端末装置によるアイデア投資装置1への処理要求は、例えば当該端末装置からログアウト要求が出力されるまで受け付けられる。

【0057】次に、上述したログイン処理においてログインが許可されたアイデア保有者による株発行処理について図面を参照しながら説明する。図3は、アイデア保

有者による株発行処理を説明するためのフローチャートである。

【0058】ステップST130：アイデア保有者の端末装置2bから株発行要求が出力され、当該要求がネットワーク40を介してアイデア投資装置1の入出力部11に受信されて株管理部15に入力される。これにより、株発行処理が開始される。

【0059】ステップST131：株の発行を要求したアイデア保有者により登録されているアイデアのうち、まだ株が発行されていないアイデアに関する情報の抽出要求が、株管理部15からアイデア管理部13に出力される。この抽出要求を受けて、アイデア・データベースDB13に登録されているアイデアから当該要求に該当するアイデアが抽出され、アイデア管理部13から株管理部15に出力される。この抽出されたアイデアに関する情報に基づいて、要求元のアイデア保有者に株価および株の発行数の決定方法に関する質問を行うための質問用データが株管理部15において生成され、要求元の端末装置2bに送信される。端末装置2bに受信された質問用データは、例えばディスプレイにおける画像やスピーカによる音声として端末装置2bにより再生され、端末を操作するアイデア保有者は、この質問への回答を促される。

【0060】図7は、株発行処理においてアイデア保有者に株価の決定方法に関する質問を行うために端末装置2bのディスプレイに表示される第1の画面例を示す図である。図7に示す第1の画面例においては、アイデア管理部13により検索された3つのアイデアの登録番号およびアイデア名とともに、それについての株価の決定方法を「自分で決める」または「自動的に決める」の何れか一方から選択するためのラジオボタンが表示されている。

【0061】図7に示す第1の画面例において「自分で決める」が選択された場合、株価はアイデア保有者によって任意に設定される。この場合の発行株数は、アイデアの運用経費の見積金額と、アイデア保有者によって設定された株価とによって決定される。アイデアの運用経費の見積金額とは、例えばアイデアを権利化するために作成される明細書などの作成費の見積金額のことであり、アイデアに関する情報としてアイデア・データベースDB13に予め登録されているデータが用いられる。株の発行総額が当該見積金額よりも下回る場合、アイデアの運用費用が不足することが予想されるので、発行株数は株の発行総額が当該見積金額と少なくとも等しくなるかこれを超えるように決定される。

【0062】図7に示す第1の画面例において「自動的に決める」が選択された場合には、株価は例えば現在充り出されている株の平均株価などに基づいた所定の株価に設定される。発行株数は、「自分で決める」場合と同様に、アイデア運用経費の見積金額と当該所定の株価と

によって決定される。また、株価の決定方法として「自分で決める」および「自動的に決める」の何れも選択されなかったアイデアについては、例えば株の発行が見送られたものと判断されて株の発行は行われない。

【0063】図7に示す第1の画面例において各アイデアの株価の決定方法が選択された後、画面右隅の決定ボタンがマウス等の操作によって押された場合には、図8に示す第2の画面例が端末装置2bのディスプレイに表示される。図8は、株発行処理においてアイデア保有者に株価の決定方法に関する質問を行うために端末装置2bのディスプレイに表示される第2の画面例を示す図である。図8に示す第2の画面例においては、株価の決定方法として「自分で決める」が選択されたアイデアの登録番号およびアイデア名が表示されるとともに、当該アイデアの株価の入力を促すメッセージが表示される。また、株価の決定方法として「自動的に決める」が選択されたアイデアの登録番号およびアイデア名が確認のために表示される。

【0064】ステップST132：図8に示す第2の画面例における株価の欄にアイデア保有者によって株価が入力された後、画面右隅の決定ボタンがマウス等の操作によって押されることにより、アイデア投資装置1からの質問に対するアイデア保有者の回答が決定される。決定された回答のデータは、端末装置2bからネットワーク40を介してアイデア投資装置1の入出力部11に受信され、株管理部15に入力される。

【0065】ステップST133：株管理部15において、端末装置2bからの回答内容が株の発行を許可するための所定の要件を満たしているか否かが確認される。例えば、株の発行を要求されたアイデアの運用経費に関する上述した見積金額が既に算定されているか、当該アイデアが新規性や進歩性などに関する所定の基準をクリアしているかなどの要件が、アイデア・データベースDB13に登録されているアイデアの情報に基づいて確認される。

【0066】ステップST134：ステップST133における株発行要件の確認結果に応じて、ステップST135またはステップST136の何れかに処理が移行される。株発行要件を満たしている場合にはステップST136に処理が移行され、満たしていない場合にはステップST135に処理が移行される。

ステップST135：株発行要求が不許可と判断されたことを要求元の端末装置2bに通知するメッセージが株管理部15において生成され、当該メッセージが要求元の端末装置2bに送信されて株発行処理が終了される。

【0067】ステップST136：端末装置2bからの回答内容に基づいて、株価および株数が計算される。例えば図7に示す画面例において「自分で決める」が選択されたアイデアの株価は、例えば株の発行要求元によって任意に決定された株価であり、この場合の株の発行数

は、株の発行総額がアイデアの運用経費の見積金額と少なくとも等しくなるかこれを超えるように自動的に計算される。あるいは、株価および株の発行数をいずれも株の発行要求元によって任意に設定させても良い。この場合、発行される株の総額が上述したアイデアの運用経費の見積金額に満たない場合には、例えば発行株の総額が当該見積金額を超えるまで、株価および株発行数の再設定を株の発行要求元に促す処理を行っても良い。

【0068】また、「自動的に決める」が選択されたアイデアの株価は、例えば現在売り出されている株の平均株価などに基づいた所定の株価に設定され、この場合の発行株数は、「自分で決める」場合と同様に、アイデア運用経費の見積金額と当該所定の株価とによって計算される。

【0069】ステップST137：ステップST136において株価および株数が計算されて決定された株の情報が、発行された株として株データベースDB15に登録される。

ステップST138：ステップST137において株データベースDB15に登録された株に関する情報は、以降、販売が完了するか販売が中止されるまで、会員の投資家に公開される。例えば後述する株選択処理のように、株公開部14からの要求に応じた株の情報が株データベースDB15から抽出され、閲覧を要求する投資家に送信される。

【0070】次に、上述した株発行処理において発行された株に関する情報を投資家が閲覧し、その中から購入を希望する株を選択する株選択処理について、図面を参照しながら説明する。図4は、投資家による株選択処理を説明するためのフローチャートである。

【0071】ステップST110：会員登録された投資家の端末装置2aから株表示要求が出力され、当該要求がネットワーク40を介してアイデア投資装置1の入出力部11に受信されて株公開部14に入力される。これにより、株選択処理が開始される。

【0072】ステップST111：株公開部14において、当該株表示要求の要求元が所定の株表示要件を満たしているか否かが確認される。例えば、表示されるアイデアの情報にアイデアの内容に係わるものが含まれており、これを表示させることによってアイデアが公知となる場合には、所定の秘密保持契約に同意していることが株表示要件となる。すなわち、秘密保持契約に同意しない会員による株表示要求は株表示要件を満たしていないと判断される。

【0073】また、例えば会員が投資家またはアイデア保有者の何れか一方の資格で会員データベースDB12に登録されるものとし、当該要求元が投資家として登録されていることを株表示要件としても良い。この場合には、アイデア保有者として登録されている会員による株表示要求は株表示要件を満たしていないと判断される。

これにより、アイデアの創作意欲を有する者によって権利化前のアイデアに関する情報が閲覧されることを防止でき、アイデアの剽窃などによる無用な争いを減少させることができる。

【0074】ただし、例えば株公開部14において公開されるアイデアの情報の中に、アイデアが公知となるようなアイデアの内容に関する情報が含まれていない場合には上述した秘密保持契約への同意が不要になるので、ステップST111や後述するステップST112およびステップST114を省略させても良い。また、ステップST111や後述するステップST112およびステップST114を省略させ、後述するステップST113において、表示されるアイデアの情報ごとに秘密保持契約への同意を表示要求元に確認させても良い。いずれにしても、アイデアの情報を表示させることによって当該アイデアが公知となる場合には、所定の秘密保持契約に同意している会員にのみ、当該アイデアの情報が表示される。

【0075】ステップST112：受信された株表示要求が株表示要件を満たしている場合はステップST113に処理が移行され、満たしていない場合にはステップST114に処理が移行される。

ステップST114：株表示要求が不許可と判断されたことを要求元の端末装置2aに通知するメッセージが株公開部14において生成され、当該メッセージが要求元の端末装置2aに送信されて株選択処理が終了される。

【0076】ステップST113：要求元の投資家に表示される株の情報が株管理部15から株公開部14に入力されるとともに、当該株のアイデアに関する情報がアイデア管理部13から株公開部14に入力される。そして、株公開部14において入力された情報から表示データが生成され、要求元の投資家の端末装置2aに送信される。端末装置2aに受信された表示データは、例えばディスプレイにおける画像やスピーカによる音声として端末装置2aにより再生される。また、画像や音声などで再生される株の情報に基づいて、購入を希望する株が投資家に選択される。例えば、ディスプレイ画面上に表示される情報の中から購入を希望する株がマウスなどによって投資家に選択される操作が行われる。選択された株の情報は、後述する株販売処理において株販売部16に送信される。

【0077】ステップST115：株の情報を閲覧する投資家による表示内容の変更指示が、株公開部14に受信されているか否かが判断される。例えば、特定のアイデアに関する株の情報を表示させる指示や、株価の安い順番で情報を表示させる指示などが株公開部14に受信されているか否かが判断される。表示内容の変更指示が受信されている場合には、ステップST116に処理が移行され、受信されていない場合にはステップST117に処理が移行される。

【0078】ステップST116：投資家からの表示内容の変更指示を受けて、アイデア・データベースDB13および株データベースDB15から変更指示に応じたデータが抽出され、株公開部14に入力される。そして、株公開部14に入力されたデータから、変更指示に応じた表示データが生成される。例えば株価の安い順番で株の情報が表示される表示データが生成される。その後、再びステップST113に処理が戻されて、生成された表示データが投資家の端末装置2aに出力される。

【0079】ステップST117：購入を希望する株の選択が終了し、投資家から株情報の閲覧終了が指示されているか否かが判断され、指示されている場合には株選択処理が終了される。指示されていない場合にはステップST115に処理が戻されて、投資家による株情報の閲覧および株の選択が続行される。

【0080】次に、上述した株選択処理において選択された株を投資家に販売する株販売処理について、図5は、株販売処理を説明するためのフローチャートである。

【0081】ステップST120：株選択処理において購入を希望する株の選択が完了した後、投資家の端末装置2aから当該株の販売要求が出力され、当該要求がネットワーク40を介してアイデア投資装置1の出入力部11に受信されて株販売部16に入力される。これにより、株販売処理が開始される。

【0082】ステップST121：選択された株に関する情報の抽出要求が株販売部16から株管理部15に出力され、株管理部15において、この抽出要求に応じた株の情報が株データベースDB15から抽出される。抽出された株の情報は株販売部16に入力され、販売可能であるか否かが確認される。例えば、選択された株が既に他の投資家に販売されている場合や売約済である場合には販売不可であると判断される。

ステップST122：ステップST121において株の販売が可能であることが確認された場合にはステップST123に処理が移行され、販売不可であることが確認された場合には株販売処理が終了される。

【0083】ステップST123：販売要求元が所定の販売要件を満たしているか否かが確認される。例えば、販売要求元に販売された株のうち、代金が未払いである株の総額が所定の上限額を越えているか否かが会員データベース12の情報から確認され、当該上限額を越えている場合に当該要求元の会員は株の販売要件を満たしていないと判断される。

【0084】ステップST124：ステップST123において株の販売要件を満たしていることが確認された場合にはステップST126に処理が移行され、当該要件を満たしていないことが確認された場合にはステップST125に処理が移行される。

ステップST125：株販売要求が不許可と判断された

ことを要求元の端末装置2aに通知するメッセージが株販売部16において生成され、当該メッセージが要求元の端末装置2aに送信されて株販売処理が終了される。

【0085】ステップST126：販売要求を受けた株が売約済であることが株データベースDB15に登録される。本ステップにおいて売約済として登録された株は、上述したステップST121で販売不可であると判断されるため、他の投資家に販売されることはない。

【0086】ステップST127：ステップST126において売約済として登録された株が、販売要求元の会員に販売される。代金の支払い方法としては、例えば電子マネーによる支払いや、クレジットカードによる支払いなど種々のオンラインによる支払い方法の他に、銀行振込や、現金書留、小切手による送金など、種々のオフラインによる支払い方法を取ることが可能である。また、これらの支払い方法のうちの幾つかから、適当な支払い方法を会員に選択させても良い。オンラインによる支払い方法の場合には、例えばネットワーク40に接続された図示しない金融機関から、支払いの完了を示す情報がアイデア投資装置1の株販売部16に入力される。またオフラインによる支払い方法の場合には、アイデア投資装置1を操作するオペレータによって、支払いの完了を示す情報が株販売部16に入力される。株販売部16において代金の支払いが確認された場合に、ステップST128へ処理が移行される。

【0087】また、ステップST127において所定の売約期間内に代金が支払われない場合、販売要求を受けた株のステータスを売約済から販売可能に変更して、株販売処理を終了させても良い。これにより、株がいつまでも売約済のままで無駄に放置されることがなくなる。

【0088】ステップST128：ステップST127において代金の支払いが完了した株のステータスが売約済から販売済に変更され、株データベースDB15に登録される。また当該株を購入した会員の情報など、株の管理に用いられる情報が株データベースDB15に登録される。

【0089】次に、上述した株発行処理において発行された株の売上額を監視し、当該監視結果に応じて株価の変更や株の販売中止を株の発行要求元に問い合わせる売上不足処理について、図面を参照しながら説明する。図6は、売上不足処理を説明するためのフローチャートである。

【0090】図6に示す売上不足処理は、所定の時間間隔で自動的に実行される。これにより、株の売上管理が自動的に行われる。

ステップST140：まず売上不足処理の初めにおいて、販売中の株が株データベースDB15から検索されて、売上額が株管理部15に確認される。

ステップST141：ステップST140において確認された株の売上額が所定の売上額、たとえばアイデアの

運用経費の見積額に対して不足しているか否かが判断され、不足していると判断された場合にはステップST142に処理が移行される。また目標額に達していると判断された場合には、売上不足処理が終了される。

【0091】ステップST142：株が発行されてからの期間が所定の販売期間を越えているか否かが判断される。当該販売期間を越えている場合にはステップST148に処理が移行され、越えていない場合にはステップST143に処理が移行される。

【0092】ステップST143：株が発行されてから所定期間経過した株の売上額が、当該所定期間に応じた所定の中間目標額に到達しているか否かが判断される。当該中間目標額に到達している場合には売上不足処理が終了され、到達していない場合にはステップST144に処理が移行される。中間目標額は、例えば株の発行総額における割合として設定される。また、複数の経過期間に対応させて、複数の中間目標額を設定させても良い。

【0093】ステップST144：株価の変更を問い合わせる質問用データが株管理部15において生成されて、株の発行を要求したアイデア保有者の端末装置2bに送信される。例えばネットワーク40がインターネットの場合には、株価の変更を問い合わせるEメールを株管理部15において生成させて、アイデア保有者のメールアドレスが指定するメールサーバに当該Eメールを送信させても良い。

【0094】ステップST145：端末装置2bに受信された株価変更の問い合わせに応じたアイデア保有者からの回答が、ネットワーク40を介して入出力部11に受信され、株販売部16に入力される。回答は例えばEメールでも良いし、あるいはアイデア保有者にアイデア投資装置1へアクセスさせて回答を送信させても良い。なお、所定期間内にアイデア保有者からの返答がない場合には、例えば後に続くステップST146やステップST147の処理を行わずに売上不足処理を終了させても良いし、あるいは、ステップST147に処理を移行させ、所定の率で株価を値下げさせた後に売上不足処理を終了させても良い。

【0095】ステップST146：アイデア保有者からの回答が株価の変更を指示する場合にはステップST147に処理が移行され、株価の据え置きを指示する場合には売上不足処理が終了される。

【0096】ステップST147：アイデア保有者からの回答に応じて株データベースDB15に登録されている株価および株の発行数が変更されて、売上不足処理が終了される。この場合の株価は、例えばアイデア保有者からの要求に応じて任意に設定される。あるいは、予め設定された割引率の中からアイデア保有者に選択させ、選択された割引率で現行の株価を割り引いた金額に設定させても良い。また株の発行数は、例えば上述した株発

行処理と同様に、発行される株の総額がアイデアの運用経費の見積金額以上となるように設定される。

【0097】ステップST148株が発行されてからの期間が所定の販売期間を越えている場合には、株の販売中止を問い合わせる質問用データが株管理部15において生成されて、株の発行を要求したアイデア保有者の端末装置2bに送信される。例えばネットワーク40がインターネットの場合には、株の販売中止を問い合わせるEメールを株管理部15において生成させて、アイデア保有者のメールアドレスが指定するメールサーバに当該Eメールを送信しても良い。

【0098】ステップST149：端末装置2bに受信された株の販売中止の問い合わせに応じたアイデア保有者からの回答が、ネットワーク40を介して入出力部11に受信され、株販売部16に入力される。回答は例えばEメールでも良いし、あるいはアイデア保有者にアイデア投資装置1へアクセスさせて回答を送信させても良い。なお、所定期間内にアイデア保有者からの返答が無い場合には、例えば、ステップST151に処理を移行させて株の販売を強制的に中止させても良いし、あるいは、ステップST152に処理を移行させて所定の期間だけ販売期間を延長させてから売上不足処理を終了させても良い。

【0099】ステップST150：アイデア保有者からの回答が株の販売中止を指示する場合にはステップST151に処理が移行され、販売期間の延長を指示する場合にはステップST152に処理が移行される。

【0100】ステップST151：株データベースDB13に登録されている株のステータスが販売中から販売中止に変更される。これにより、当該株の情報が上述の株選択処理において投資家に表示されなくなるとともに、上述の株販売処理において投資家に販売されなくなる。また、上述の株販売処理において当該株を購入した投資家には、購入した株の金額に応じた清算金が支払われる。支払い方法は、例えば株販売処理の場合と同様に、電子マネーによる支払いや、クレジットカードによる支払いなど種々のオンラインによる支払い方法や、銀行振込、現金書留、小切手による送金など、種々のオフラインによる支払い方法を取ることが可能である。

【0101】ステップST152：販売期間を延長する処理が実行される。例えば、現行の販売期間が所定の延長期間だけ自動的に延長される。あるいは、延長期間を株の発行要求元であるアイデア保有者にEメールなどで問い合わせ、この問い合わせに対するアイデア保有者からの回答に応じて延長期間を設定させても良い。また、無限に販売期間を延長させない場合には、延長された販売期間に上限を設けて、この上限を超えた場合は強制的にステップST151に処理を移行させて販売を中止させても良い。

【0102】以上説明したように、図1に示すアイデア

投資システム100によれば、株管理部15においてアイデア保有者の端末装置2bから株の発行要求を受け、アイデアの運用経費の見積金額に応じた金額および発行数に設定された株が発行される。また、株管理部15において発行された株の株価、および当該株のアイデアに関する情報は、株公開部14によって会員に公開される。さらに、株公開部14において公開された株は、株販売手段16において投資家の端末装置2aから販売要求を受けて、多くとも株管理部15において設定された発行数までの当該株が、株管理部15において設定された株価で要求元の投資家に販売される。したがって、例えばインターネットによる公衆に開かれたネットワーク上において、アイデアへの投資に関心を有する投資家と、資金提供を希望するアイデア保有者が接觸できる場が提供され、アイデア保有者が効率的にアイデアの運用に必要な資金を集めることができるので、従来は費用が高額なため依頼できなかった弁理士などの専門家に明細書などの書類を作成してもらうことが可能となり、アイデアの権利化に成功する率を高めることができる。これにより、広く一般の人々がアイデアの運用によって利益を得られる道が開けるので、アイデアの創出を活発化させることができ、技術の進歩や産業の発達を促すことができる。また、アイデア投資装置1にアクセスすることによって、投資対象のアイデアを効率的に検索することができるので、投資家の利便性を高めることができる。

【0103】また、株管理部15において、アイデアに対して発行される株の総額が、当該アイデアの運用経費の見積金額と等しいか、または当該見積もり金額を超えるように株価と株の発行数が設定されるので、アイデアの運用に必要な資金が不足してしまう事態の発生する率を低減できる。

【0104】また、株管理部15において、アイデア保有者からの要求に応じて、発行する株価または株の発行数の何れか一方または両方が設定されるので、アイデア保有者の意向に沿った株を発行できる。

【0105】また、株管理部15において、発行から所定期間経過した株の売上額が当該所定期間に応じた所定の売上額に達していない株の発行要求元に、当該株の株価および発行数の再設定について問い合わせされる。そして、当該問い合わせに対する回答に応じて、当該株の株価および発行数が再設定される。したがって、売上の延びない株の株価を株発行要求元の判断に応じて切り下げるができるので、株の売上を促進させることができる。また、株管理部15によって自動的に問い合わせが発生されるので、株発行要求元のアイデア保有者の株管理に関する作業負担を軽減できる。

【0106】また、株管理部15において、発行から所定の販売期間経過した株の売上額がアイデアの運用経費の見積金額に達していない株の発行要求元に、当該株の

販売中止について問い合わせされる。そして、当該問い合わせに対する回答に応じて、当該株の販売中止が株販売部16に指示され、株販売部16において販売された株の金額に応じた清算金が当該株の所有者に払い戻しされる。株販売部16においては、株管理部15からの指示に応じて、当該株の販売が中止される。したがって、必要な資金を集めることができないアイデアの株を管理する必要が無くなるので、アイデア投資装置1の処理負担を軽減できる。

【0107】以下、本発明の第2の実施形態に係るアイデア運用システムについて説明する。

<第2の実施形態>図9は、本発明の第3の実施形態に係るアイデア運用システム200を説明するための全体構成図である。図9に示すように、アイデア運用システム200では、アイデア保有者が使用する端末装置10と、投資家が使用する単数または複数の端末装置20と、明細書作成希望者が使用する単数または複数の端末装置25と、アイデア創作支援サーバ装置28、特許情報サーバ装置29、新規性評価サーバ装置30、経済価値評価サーバ装置31、投資家募集サーバ装置32、経営サーバ装置33、および明細書作成者募集サーバ装置34とが、ネットワーク40を介して接続される。アイデア運用システム200は、本発明のアイデア運用装置の一実施形態である。経済価値評価サーバ装置31は、本発明の経済価値評価手段の一実施形態である。投資家募集サーバ装置32は、本発明の資金提供者募集手段の一実施形態である。経営サーバ装置33は、本発明の運用手段の一実施形態である。

【0108】ここで、アイデア保有者とは、アイデアの発案者、または当該発案者から特許を受ける権利の譲渡を受けた者などをいう。本実施形態では、本発明のアイデアの一例として、例えば、特許法の発明に該当する自然法則を利用した技術的思想の創作を例示する。また、投資家とは、当該アイデアを用いた事業に投資を行う者であり、本発明の資金提供者に対応している。

【0109】また、投資家募集サーバ装置32には図1に示すアイデア投資装置1が含まれており、投資家が使用する単数または複数の端末装置20は図1における端末装置2aと、アイデア保有者が使用する端末装置10は図1における端末装置2bとそれぞれ対応する。投資家募集サーバ装置32、端末装置10および端末装置20は、ネットワーク40を介して、第1の実施形態における説明と同様の動作を行う。

【0110】アイデア運用システム200では、アイデア創作支援サーバ装置28、特許情報サーバ装置29、新規性評価サーバ装置30、経済価値評価サーバ装置31、投資家募集サーバ装置32、経営サーバ装置33および明細書作成者募集サーバ装置34が、ネットワーク40を介して通信しながら連携して動作する。

【0111】なお、本実施形態では、図9に示すよう

に、それぞれ単数の端末装置10、端末装置20および端末装置25がネットワーク40に接続されている場合を例示しているが、実際には複数の端末装置10、端末装置20および端末装置25がネットワーク40に接続されている。

【0112】端末装置10は、例えば、パーソナルコンピュータであり、アイデア保有者によるキーボードやマウスなどの操作手段の操作に応じた要求を、ネットワーク40を介して上述した各種サーバ装置に送信する。例えばアイデア保有者が自身のアイデアを権利化するために作成する明細書の見積もり金額を得る場合には、この端末装置10から投資家募集サーバ装置32に見積要求が送信される。

【0113】端末装置20は、例えば、パーソナルコンピュータであり、投資家によるキーボードやマウスなどの操作手段の操作に応じた要求を、ネットワーク40を介して上述したサーバ装置に送信する。

【0114】端末装置25は、例えば、パーソナルコンピュータであり、明細書作成希望者によるキーボードやマウスなどの操作手段の操作に応じた要求を、ネットワーク40を介して上述したサーバ装置に送信する。本実施形態では、明細書作成希望者は、アイデア保有者のアイデアを特許にする際に、当該アイデアの特許出願の明細書を作成することを希望する者である。

【0115】アイデア創作支援サーバ装置28は、アイデア保有者による操作に応じたアイデア創作支援要求を端末装置10から受信し、アイデア保有者によるアイデアの創作を支援する。

【0116】特許情報サーバ装置29は、例えば、内容が関連する特許公報などの技術文献が、キーワードを用いて検索可能なデータベースを提供するサーバ装置である。

【0117】新規性評価サーバ装置30は、アイデア保有者が保有するアイデアが、新規なものであるか否かを調査し、投資家などが当該アイデアに投資する際に参考となる情報を提供する。

【0118】経済価値評価サーバ装置31は、端末装置10や端末装置20からのアイデア価値評価要求をネットワーク40を介して受信し、これに応じてアイデアに関する情報を入力し、この情報に基づいてアイデアの経済的な価値を評価する。この評価結果は、例えば投資家などが当該アイデアに投資する際に参考となる情報として提供される。

【0119】投資家募集サーバ装置32は、経済価値評価サーバ装置31で評価されたアイデアを登録し、許可された所定の投資家による端末装置20からの当該アイデアの閲覧、出資、投資成立および不成立の場合の処理などを行う。

【0120】経営サーバ装置33は、投資家募集サーバ装置32において投資家の募集に成功したアイデアを、

出資金を原資として運用、経営、決算、利益配分、倒産および清算を行うための処理を行う。

【0121】明細書作成者募集サーバ装置34は、経営サーバ装置33からの明細書作成要求を受けて、アイデアの特許出願に用いる明細書を作成する明細書作成者の募集、並びに明細書作成者の実績に応じた対価を決定する。

【0122】以下、図9に示す各サーバ装置を用いたアイデア運用システム200の全体動作を説明する。図10は、アイデア運用システム200の全体動作を説明するためのフローチャートである。

ステップST71：アイデアの保有者は、自らのアイデアの価値を知りたい場合に、端末装置10を操作してアイデア創作支援要求をアイデア創作支援サーバ装置28に送信する。アイデア創作支援サーバ装置28は、アイデア創作支援要求に応じて、内蔵しているデータベース、あるいは外部のデータベースを検索して得た情報を用いて、アイデア創作支援要求があったアイデアが、市場において現在または将来にどの程度の経済的価値を持つかを判断する。また、アイデア創作支援サーバ装置28は、高い経済的価値を持つアイデアが創作されることを支援（補助）するために、当該アイデアの経済的な価値を高めるために有効な所定の情報を端末装置10に送信し、当該情報を参考にして当該アイデア保有者がアイデアの修正を行うことを認める。アイデア創作支援サーバ装置28は、当該修正されたアイデアの経済的価値をさらに判断する。

【0123】ステップST72：新規性評価サーバ装置30は、例えば、アイデア保有者の操作に応じた端末装置10からの新規性評価要求に応じて、内蔵しているデータベース、あるいは図9に示すネットワーク40上の特許情報サーバ装置29などを検索して、新規性評価要求があったアイデアが、公知技術との関係で新規なものであるかを調査して新規性評価値を算出する。

【0124】ステップST73：経済価値評価サーバ装置31は、例えば新規性調査サーバ装置30による新規性調査で新規性評価値が所定の基準を満たしたアイデアについて、経済価値評価要求に応じて、当該アイデアが属する分野の成長性、市場規模、当該アイデアが特許になった場合の市場活動への拘束力などを考慮して、当該アイデアを特許にして事業化を行った場合に、どの程度の収益を見込めるか（当該アイデアのビジネス上の価値）を示す経済価値評価値を算出する。

【0125】ステップST74：投資家募集サーバ装置32は、例えばステップST72、ステップST73の評価を得たアイデアについて、当該アイデアに投資を行う投資家を募集するための処理を行う。投資家募集サーバ装置32は、例えば、ステップST72、ST73で算出した新規性評価値およびアイデア評価値などの当該アイデアに関する情報を投資家に提供し、当該アイデア

に投資する投資家を募る。なお、当該アイデアに関する情報が当該アイデアを公知にする内容を含んでいる場合には、所定の秘密保持契約に同意する投資家にのみ当該情報が提供される。投資の方法として株式のような形式を採用する場合には、投資家募集サーバ装置32は、例えば、アイデア保有者に自らの権利持分（株保有率）を決めさせ、残りの株に対して投資家を募るための処理を行う。

【0126】ステップST75：経営サーバ装置33は、当該アイデアの運用に必要な運用資金の額を算出し、当該算出した額の運用資金が、ステップST74の投資家の投資によって得られた場合に、当該アイデアに関する経営処理を開始する。当該経営処理では、経営サーバ装置33は、例えば、明細書作成者募集サーバ装置34と連携して行われる当該アイデアの特許出願に用いる明細書の作成依頼処理、特許庁との間の出願段階での中間手続の管理処理、特許後のライセンス契約に関する処理などがある。

【0127】ステップST76：経営サーバ装置33は、経営が破綻した場合には、当該アイデアに関する事業の所定の倒産処理を行う。

【0128】以上説明したように、アイデア運用システム200によれば、アイデア保有者は、アイデア創作支援サーバ装置28にアクセスを行うことで、自らのアイデアの経済的価値を知ることができると共に、アイデア創作支援サーバ装置28からの情報に基づいて、経済的価値をさらに高めるように、自らのアイデアを修正できる。また、アイデア創作支援サーバ装置28を用いることで、何らかのアイデアを発案した者は、自らのアイデアの経済的価値をゲーム感覚で手軽に知ることができ、アイデアの発案行為を促進し、優れたアイデアが発案されることを促進できる。

【0129】また、アイデア運用システム200では、上述したように、経済価値評価サーバ装置31および投資家募集サーバ装置32を用いることで、高い経済的価値を持つ優れたアイデアを、当該アイデアの経済的価値を示す情報を投資家にネットワーク40を介して提供し、当該アイデアの運用（実施）に必要な資金を当該投資家からネットワーク40を介して集めることができる。そのため、アイデア運用システム200によれば、投資家は、各アイデアの経済的価値を知ることができ、投資対象を決める材料となる有効な情報を得ることができる。また、アイデア運用システム200によれば、優れたアイデアについては、多数の投資家から投資を得られる可能性がある。

【0130】また、アイデア運用システム200によれば、新規性調査サーバ装置30において所定の基準を満たした評価を得られたアイデアについて、経済価値評価サーバ装置31による評価処理の対象として、経済価値評価サーバ装置31の処理負担を軽減できる。

【0131】また、アイデア運用システム200によれば、経済価値評価サーバ装置31において所定の基準を満たすことを条件に、当該アイデアの投資家募集サーバ装置32への登録を認めることで、投資対象としての価値が低い多數のアイデアが投資家募集サーバ装置32に登録されることを回避し、投資家による検索処理を効率化できる。

【0132】また、アイデア運用システム200では、経営サーバ装置33を用いてアイデアを運用することで、アイデアの運用に関する手続的な部分を自動化でき、手続上の誤りなどを少なくできる。

【0133】また、アイデア運用システム200では、明細書作成者募集サーバ装置34を用いて明細書作成希望者に対しての客観的な評価を公表することで、当該アイデアの専門分野や重要度に適合した明細書作成希望者を選択して明細書を作成させることができる。また、明細書作成者募集サーバ装置34によれば、明細書作成希望者に競争原理を働かせることで、明細書作成者のレベルを高めることができる。

【0134】本発明は、上述した実施形態に限定されない。例えば、図1において示したアイデア投資装置1や、図9に示したサーバ装置を1台のコンピュータによって構成させることもでき、あるいは処理が分散されて実行される複数のコンピュータによって構成させることもできる。また、これらの装置が複数のコンピュータで構成される場合において、コンピュータ間の通信を、例えばインターネットなどの種々のネットワークを介して行ってもよい。

【0135】

【発明の効果】本発明によれば、アイデアへの投資に関心を有する投資家と、投資を希望するアイデア保有者が接觸できる場が提供され、アイデア保有者が効率的にアイデアの運用に必要な資金を集めることができる。これにより、広く一般の人々がアイデアの運用によって利益を得られる道が開けるので、アイデアの創出を活発化させることができ、技術の進歩や産業の発達を促すこと

ができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施形態に係るアイデア投資システム100を説明するための構成図である。

【図2】ログイン処理を説明するフローチャートである。

【図3】株発行処理を説明するためのフローチャートである。

【図4】株選択処理を説明するためのフローチャートである。

【図5】株販売処理を説明するためのフローチャートである。

【図6】売上不足処理を説明するためのフローチャートである。

【図7】株発行処理においてアイデア保有者に株価の決定方法に関する質問を行うために端末装置2bのディスプレイに表示される第1の画面例を示す図である。

【図8】株発行処理においてアイデア保有者に株価の決定方法に関する質問を行うために端末装置2bのディスプレイに表示される第2の画面例を示す図である。

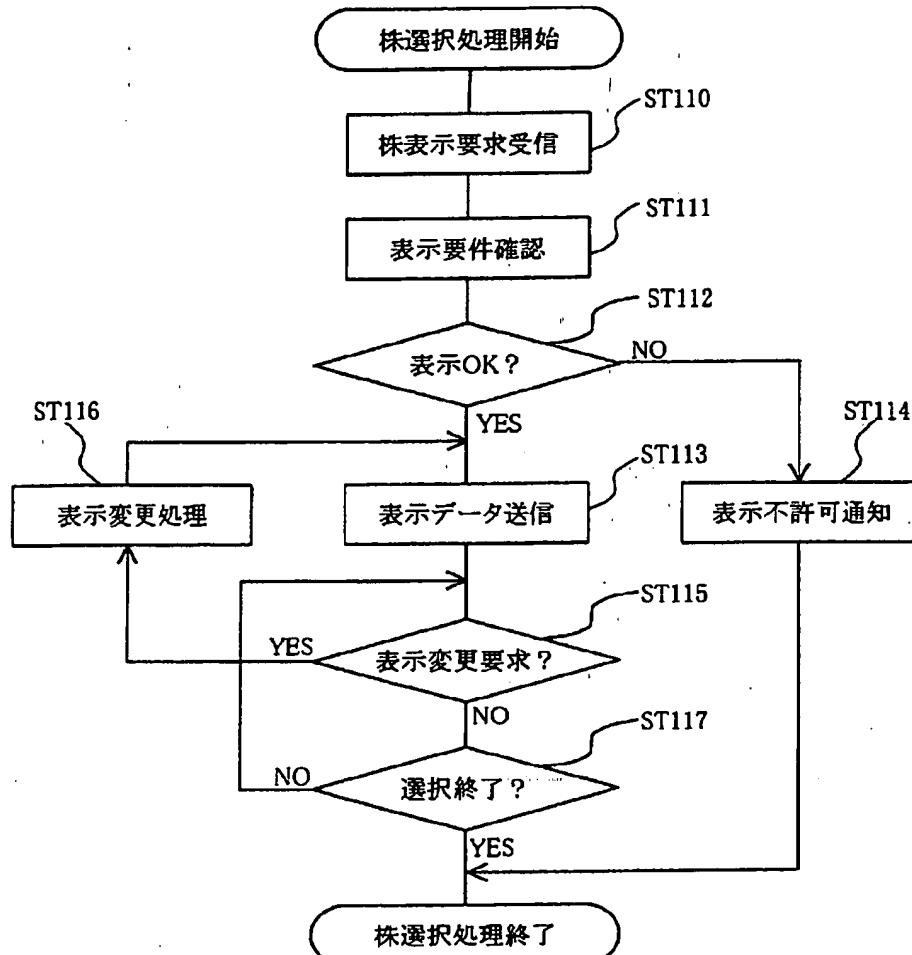
【図9】本発明の第2の実施形態に係るアイデア運用システム200を説明するための全体構成図である。

【図10】アイデア運用システム200の全体動作を説明するためのフローチャートである。

【符号の説明】

1…アイデア投資装置、11…入出力部、12…会員管理部、13…アイデア管理部、14…株公開部、15…株管理部、16…株販売部、DB12…会員データベース、DB13…アイデア・データベース、DB15…株データベース、2a、2b、10、20、25…端末装置、28…アイデア創作支援サーバ装置、29…特許情報サーバ装置、30…新規性評価サーバ装置、31…経済価値評価サーバ装置、32…投資家募集サーバ装置、33…経営サーバ装置、34…明細書作成者募集サーバ装置、40…ネットワーク、100…アイデア投資システム、200…アイデア運用システム

【図4】



【図8】

株価決定画面(2)

希望の株価を入力して下さい。

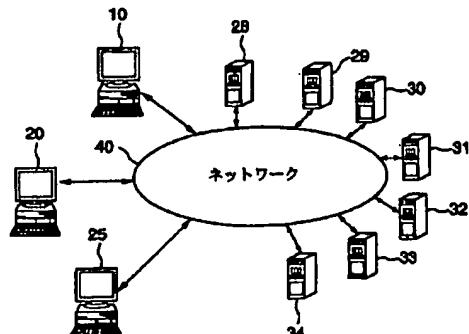
登録番号	アイデア名	備註
① ***	*****	
② ***	*****	

下記のアイデアの株価は自動的に決定されます。

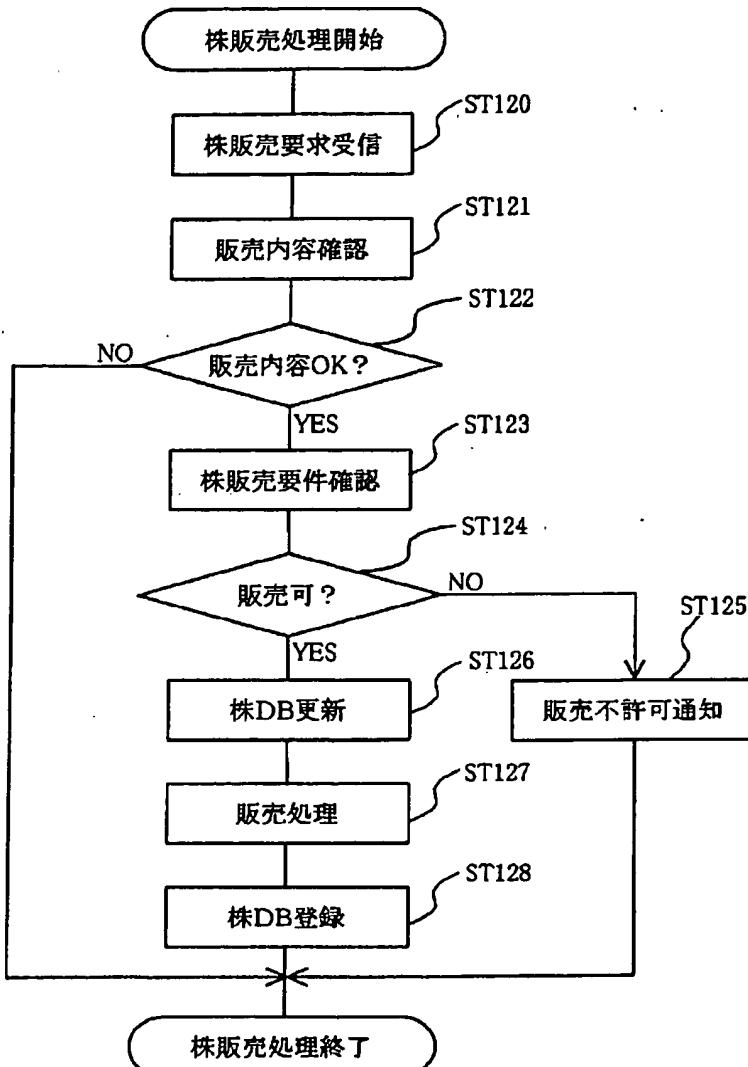
登録番号	アイデア名
③ ***	*****

[決定]

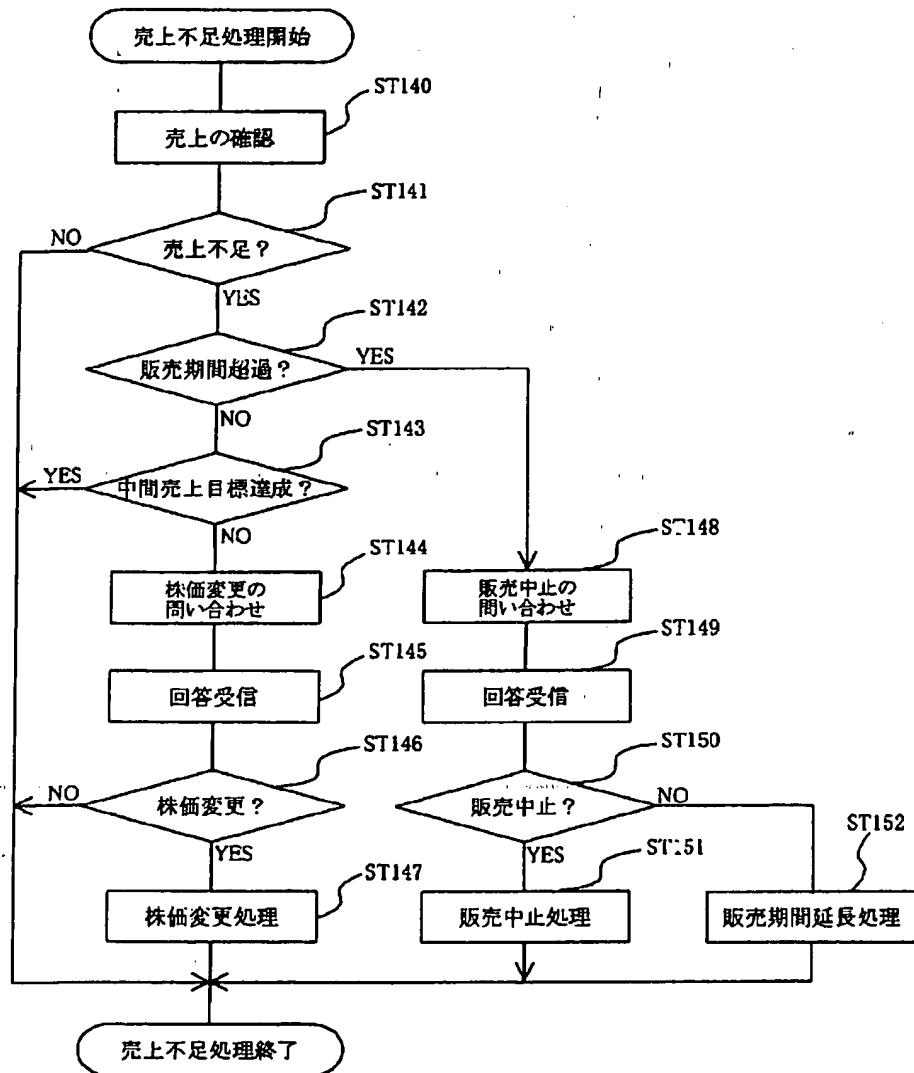
【図9】



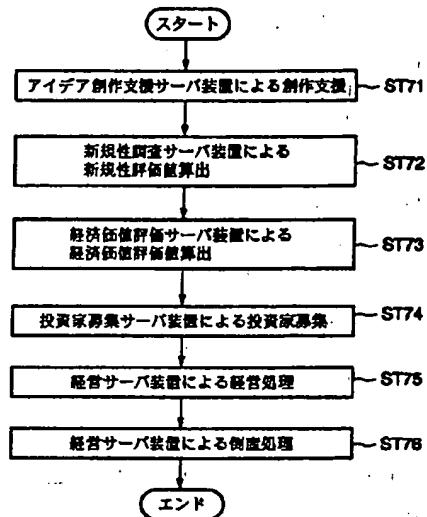
【図5】



【図6】



【図10】



フロントページの続き

(51) Int.CI. ⁷	識別記号	F I	テ-マ-ト(参考)
G 0 6 F 17/60	3 1 8	G 0 6 F 17/60	3 1 8 A
	3 3 2		3 3 2

(72)発明者 深堀 健一 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ ー株式会社内	F タ-ム(参考) 5B049 BB47 CC05 CC08 CC11 CC31 CC36 DD05 EE01 FF03 FF04 FF09 GG04 GG07
(72)発明者 大沢 光男 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ ー株式会社内	5B055 BB20 CC10 CC13 EE02 EE21 EE27 FA01 FB03 PA02 PA34